

ロボティック・プロセス・オートメーション (RPA) ビデオ トランスクリプト

今日のデジタル社会で金融に対する消費者の信頼を獲得するには、オペレーションの変革が必要です。

アクセンチュアは、変化するデジタル環境に適応し、直面する問題に対するソリューションを提供します。

業務遂行には手間と時間がかかります。

企業はコスト削減し、サービス向上させ、一定の品質を維持しなければなりません。

RPAは単なるトレンドではなく、ビジネスプロセスにおける新しいアプローチです

RPAにより社員は定型業務を軽減し、より多くの時間を顧客に向けた付加価値の高い業務に向けることができます。

人間と機械、そのどちらもビジネスを押し進めていくために欠かすことはできません。

市場をリードする企業へと成長するためには、人間と機械を効果的に融合させる必要があります。

RPAが有効なのは明らかです。

品質面ではRPAの高度な監査証跡により、リスクを軽減し、人為的なオペレーションミスを防ぐことができます。

顧客対応におけるFTEは40%以上増加します。

一方で、事務プロセス所要時間を40%削減し、顧客体験の向上やビジネスの継続に、24時間365日稼働させることも可能です。

処理コストは30%から80%にまで削減され、1年未満でROIの向上が期待できます。

アクセンチュアは、様々な業種のクライアントに対し、RPAによるビジネスプロセスの自動化を幅広く実現しています。

住宅モーゲージローンの受注プロセスもそのひとつです。

融資管理システムでは新規ローンの作成や注文手続き、キーとなる情報の検証を行います。

このプロセスには、膨大な量のデータ入力やシステム実行時間が必要です。

既存データを用いて、外部システムに複数のサードパーティーが発注をかけるため、処理実行時に重複入力や中断が生じ、処理時間が余計にかかる可能性があります。

アクセンチュアは、クライアントのビジネスプロセスを理解した上で、RPAを導入し、適切なプロセスフローを実現します。

連携すべきアプリケーションを設定することで、人間と同様の、エンドツーエンドのビジネスプロセスを実現します。

新規ローンの設定や手続きの作成も可能です。ロボットが適切なフィールドに、データを素早く、正しく入力します。

情報を収集してサードパーティーからの注文手続きを開始するとともに、住所等のデータを外部のウェブサイトと検証するなど、データの品質チェックも行います。

手入力の場合と比べ、RPAはローンの設定や注文手続きにかかる時間を、約20分短縮することができます。

作業を正確に実行し、所要時間が予測できるのも、大きな利点です。

RPAは作業を迅速に着々と実行するため、時間の短縮はとどまるところを知りません。

8時間のオペレーションで、7つのファイル処理時間を20分ずつ短縮し、合計で140分の時間短縮を実現します。短縮できた140分は他の業務に充てることができます

RPAは、食事や休憩、エラー対応などの時間が不要であるため、1日16時間稼働させると、処理時間を合計280分短縮することができます。これは、人間1人に置きかえると、約5時間の時間短縮に相当します。

RPAによるプロセスでは、必要とされるFTEを最大50%まで削減することができ、その時間を顧客対応にシフトさせることができます。

このように、RPAは企業のコアビジネス全般における業務効率向上とコスト削減に大変有効です。

アクセンチュアのRPAは、顧客体験を変革し、リスクを軽減するとともに既存のビジネスプロセスと最適化を実現します。

アクセンチュアは新たなオペレーション・エクセレンスの実現を全力でサポートします。

ご不明な点などがございましたら、japan@accenture.comまで遠慮なくご連絡下さい。